≪施工要領≫

ルーティアンカー　C-D タイプ(溶融亜鉛メッキ)

（金属系アンカー／芯棒打ち込み式）

ユニカ株式会社

202506-TA

１．はじめに

本製品は金属系アンカー 芯棒打ち込み式のルーティアンカーC-D タイプ(溶融亜鉛メッキ)です。

芯棒をハンマー等で打ち込み、本体脚部を開かせる事で、アンカーがコンクリートに固着されます。

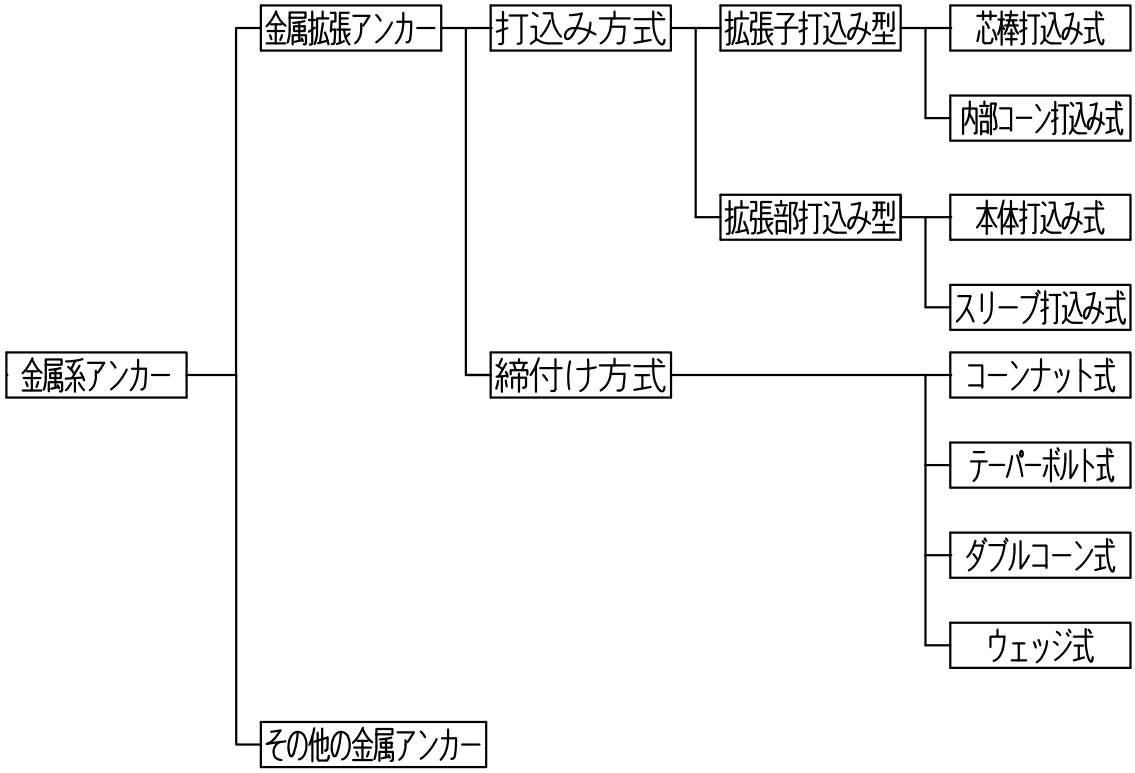


図１．金属系アンカーの系統図

本「施工要領書」はユニカ金属系アンカーのご使用に際し、アンカー施工の安全性と確実性を確保する事を目的としています。

ユニカ金属系アンカーの施工に際しましては、本施工要領書を熟読賜りますようお願い申し上げます。

２．施工

２．１施工仕様

下表に示す仕様にて施工を行って下さい。

表１．ルーティアンカーC-D タイプ(溶融亜鉛メッキ)施工仕様

〇M ねじ

品番	ねじ径	外径 (mm)	全長 (mm)	ねじ長 (mm)	最大使用厚 (mm)	ナット二面幅 (mm)	穿孔・施工仕様		
							穿孔径 (mm)	穿孔深さ (mm)	埋込長さ (mm)
C-850D	M8	8.0	50	20	5	13	8.5	40 以上	35 以上
C-870D			70	25	25				
C-1050D	M10	10.0	50	20	5	17	10.5	35 以上	30 以上
C-1060D			60	25	5			45 以上	40 以上
C-1080D			80	25	25				
C-1090D			90	30	35				
C-1010D			100	30	45				
C-1012D			120	30	65				
C-1260D	M12	12.0	60	25	8	19	12.7	42 以上	35 以上
C-1270D			70	25	8			52 以上	45 以上
C-1290D			90	30	28				
C-1210D			100	40	38				
C-1212D			120	50	58				
C-1215D			150	50	88				
C-1680D	M16	16.0	80	30	8	24	17.0	60 以上	50 以上
C-1610D			100	40	18			70 以上	60 以上
C-1612D			120	40	38				
C-1615D			150	40	68				
C-1619D			190	50	108				
C-2013D	M20	20.0	130	50	25	30	21.5	95 以上	80 以上
C-2015D			150	50	45				

〇W ねじ

C-3060D	W3/8	9.5	60	25	5	14	10.0	45 以上	40 以上

２．２参考締付トルク

表２．参考締付トルク(N･m)

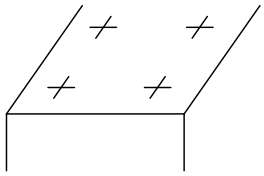
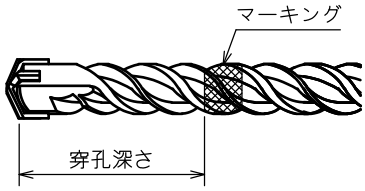
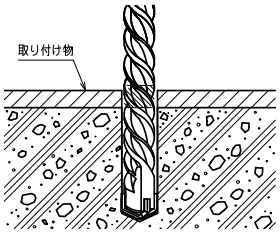
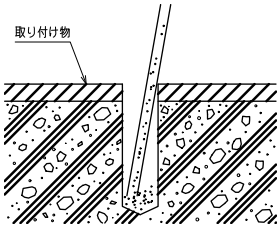
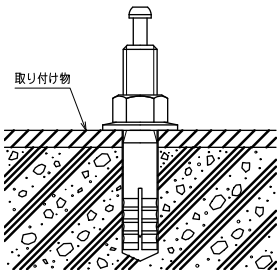
ねじ径	M8	M10(W3/8)	M12	M16	M20
参考締付トルク	12	24	42	100	200

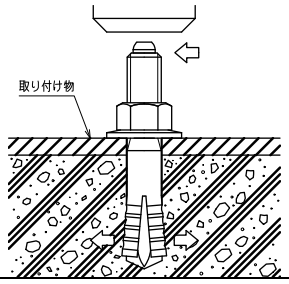
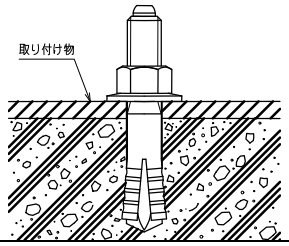
２．３母材

ルーティアンカーは普通コンクリートへの施工が可能です。

２．４施工手順

表３．ルーティアンカーC-D タイプ施工手順

施工手順		注意事項
①	墨出し 	・ 図面等の指示に従い、アンカーの施工位置に分かりやすくマークします。 ・ 既に墨出しが行われている場合は、その位置をご確認ください。
②	ドリルビットへのマーキング 	・ 前述の施工仕様にあった径のドリルビットを選定します。 ・ ドリルビットの肩から穿孔深さを測り、ビニールテープ等でマークします。
③	母材へ下穴の穿孔 	・ 墨出しを行った位置に取り付け物の上からまたは母材へ直接穿孔を行います。 ・ 穿孔は施工面に直角になるように行います。 ・ アンカー埋込み長さよりＭ８・Ｍ１０・Ｗ3/8は＋５mm、Ｍ１２は＋７mm、Ｍ１６は＋１０mm、Ｍ２０は＋１５mm 以上深く穿孔してください。
④	下穴の清掃 	・ 吸塵機、ブロワー等で下穴の切粉を除去します。 ・ 下穴に切粉が残りますと不具合が発生する可能性があるので、確実に除去してください。
⑤	下穴へのアンカーの挿入 	・ 所定の埋込み長さとなるように、アンカーへナットを取りつけます。 ・ 取り付け物や母材の仕上げ材がある場合は、その厚さを考慮して、ナットの位置(埋込み長さ)を調整してください。 ＊必ず、正常な母材にアンカー埋込み長さが埋込まれるように施工してください。

⑥	芯棒の打ち込み  	・ 芯棒の頭部が本体に接するまでハンマーを用いて打ち込みます。 ・ アンカーのサイズにより適切な重さのハンマーをご使用ください。
⑦	取り付け  	・ スパナ等を用いてナットを締めつけてください。 ・ 締めつけに関して参考締付けトルクもしくは図面等に指示がある場合はこれに従ってください。

３．取り扱い上の注意事項

３．１ご使用になる前に

３．１．１取り付け面および取り付け物の確認

施工面、母材などについて以下の項目をご確認ください。

① 取り付け面が均一な平面であること。

② 取り付けの対象となるコンクリートは JIS で規定されている普通のコンクリートであること。

③ 取り付け物と取り付け面にすき間のないこと。

④ 取り付け物とナット、ワッシャーの間にすき間のないこと。

⑤ 仕上げ材の有無および、その厚さの確認。

※①②③④に該当しない場合、当アンカーを使用しないでください。

３．１．２アンカーの点検

施工時、施工後の安全性を確保するため、以下の項目をご確認ください。

① 本体にねじがあること。

② 本体にナット、ワッシャーが入ること。

③ 本体拡張部に十字割りがあること。

④ 本体に割れ、欠けがないこと。

⑤ 芯棒が挿入されていること。

⑥ 芯棒が曲がっていないこと。

⑦ 芯棒に割れ、欠けがないこと。

※上記項目に当てはまらないアンカーは使用しないでください。

３．２安全に関する注意事項

① 施工時は必ず安全メガネ、ヘルメットなど保護具を着用してください。
② 下穴の切粉は吸塵機またはブロワーできれいに取り除いてください。
③ アンカーの全長は取り付け物の厚さや、仕上げ材の厚さを考慮して選定し、これらの厚さに応じて埋込長さを調整してください。

３．３異常に対する処理

施工中に次のような異常が発生した場合、ただちに作業を中止し、現場管理者ならびに購入先または弊社までご連絡ください。

① アンカー本体が正常に挿入できない。
② 芯棒の欠け、曲がり。
③ 芯棒が最後まで打ち込めない。
④ アンカー本体の損傷。

３．４その他

本製品は金属製のため、使用環境によっては腐食の恐れがあります。ご考慮ください。